

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040030

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費:1,800千円 計画内容:商品券発行事業 (平成25年度から商品券の枚数を拡大し、地元購買の増加策さらには商店街に対する買物頻度の増大促進を図る)
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 事業所の体づくりへの支援	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	商業活性化推進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	町内商工業の販売額		#N/A	
事業目標	販売率100%	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助 1,800千円	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助 1,800千円	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助(プレミアム率25%) 27,137千円 ※平成26年度繰越事業	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助(プレミアム率20%) 6,000千円	商工会に対する補助 ・プレミアム商品券発行事業に対する補助(プレミアム率20%) 6,000千円
	事業費(千円)	42,737	1,800	27,137	6,000	6,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	13,887		13,887		
	道支出金	13,250		13,250		
	地方債	0				
	その他	0				
実績事業費	事業費(千円)	30,707	1,800	27,107	0	0
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	13,867		13,867		
	道支出金	13,240		13,240		
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	3,600	1,800			
関 連 事 項	特定財源の名称 地方創生(消費喚起型) 交付金	【評価・実績】	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数:18,000枚 売上金額:17,250千円 使用実績:16,495千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数:18,000枚 売上金額:17,250千円 使用実績:16,495千円 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) プレミアム商品券発行事業に対する補助 発行枚数:142,500枚 売上金額:118,750千円 使用実績:118,600千円 ※事務事業評価結果 A-継続/内容の見直し・変更	(実施内容等) ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	販売枚数18,000枚	販売枚数18,000枚	販売率100%	販売率100%
		年度達成率	100%	100%	100%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	4%	8%	72%	72%
		備考欄				

事業名	商業活性化推進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係	中西厳太

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内商工業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	販売枚数及び換金額								
【抱える課題やニーズは】	町外の量販店・郊外大型ショッピングセンターへ顧客が流出し、町内小売業の活力が低下している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地元での購買意欲を喚起し、販売額の向上を目指す。	① 販売枚数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成27年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>142,500枚</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>142,500枚</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成27年度	目標値	142,500枚	実績値	142,500枚	達成度	100.0%
目標年度	平成27年度										
目標値	142,500枚										
実績値	142,500枚										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	町経済が活性化し、地元商工業者の経営基盤が安定する。	② 換金額	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成27年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>118,750千円</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>118,600千円</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>99.9%</td></tr> </table>	目標年度	平成27年度	目標値	118,750千円	実績値	118,600千円	達成度	99.9%
目標年度	平成27年度										
目標値	118,750千円										
実績値	118,600千円										
達成度	99.9%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	プレミアム商品券の発行に係る割増率、及び発行に係る経費の補助	当初発行分(発行総額81,250千円)～12,500円分の商品券のプレミア額2,500円分の内、国が80%道が20%負担。また、その他発行に係る経費のうち一部(887千円)を国が負担。追加発行分(発行総額37,500千円)～12,500円分の商品券のプレミア額2,500円分全額及びその他発行に係る経費(印刷・広告宣伝等)の全額を道が負担。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経済の長期低迷と購買力の町外流出が続く中、地元における消費拡大のため、当面は行政の支援が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	計画枚数を完売していることから見て、町民へ定着も十分と考える。また、プレミアム率を25%に上げたこと及び地域商工業者が行ったチラシ等による自助努力により、相乗効果が発生し経済効果についてあったと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	国及び道の交付金で実施したこと及びプレミアム率の拡大により効率的に実施できたと判断する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	限度額の高額設定により、利用種別の偏りは解消された。また、追加発行時においては販売方法を完全事前予約方式を取り入れることで、公平感が増した。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
プレミアム率の拡大により、非常に高い効果が見られた。商店経営の一助等の位置付けもあることから、町内商店街の自助努力を引き続き促進していくためにも必要と判断する。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
今回実施したプレミアム率の拡大によって消費が喚起されたことから、プレミアム率を今までの10%から20%に引上げたうえで今回の事業で得た手法を取り入れながら28年度事業につなげていくこととしたい。	同左	

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止